

納涼ビアパーティーのご案内

この夏、支部ではビアパーティーを催します。冷たい生ビールで日頃の疲れと暑さを吹き飛ばしませんか。職員の皆様お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。



- 日時 8月9日(土)午後5時～
- 場所 阪急トップビアガーデン
(阪急梅田駅うえ 阪急ターミナルビル屋上)
- 参加費 4000円
- 定員 20名
- お申込みは協会事務局(TEL 078-393-1805 担当:長澤・荒川・石本・湯浅)まで

尼崎アスベスト訴訟 2つの署名にご協力ください

国とクボタの責任を明確にさせるための尼崎アスベスト訴訟は、2つの裁判が争われています。一つは、クボタ旧神崎工場周辺の住民が亡くなった「公害型」裁判、もう一つは、クボタ旧神崎工場内の下請け業者が亡くなった「労災型」裁判です。協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」は「公害型」の最高裁判所と「労災型」の神戸地方裁判所、この2つの裁判について、公平、公正な判決・審理を求める署名活動を行います。

署名用紙は、7月中旬にお送りしています。先生方のご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせは、協会事務局・石本、長澤まで(078-393-1809)

第486回幹事会だより

6月27日(金)於 阪急園田「王府楼」

- 尼崎支部の会員数
6/27 現在 医科 379人、歯科 146人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
支部総会など当面の活動、医療情勢などについて意見交換した。
- 次回の幹事会
7月25日にJR立花「日出安」にて開催。

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

357号

2014年7月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

兵庫県保険医協会尼崎支部

第43回支部総会を開催



講演をする南鉄雄氏

尼崎支部は6月21日、中小企業センターで第43回支部総会を開催した。総会議事では2014年度方針案を採択した(活動方針を2頁に掲載)。記念企画では、全国社会保険診療報酬支払基金労働組合元中央執行委員長の南鉄雄氏が「支払基金における審査の現状～査定・減点を減らすレセプト請求の留意点～」をテーマに講演し、会員、スタッフら48名が参加した。参加者の感想文を掲載する。

6月21日(土)中小企業センターで行われた、尼崎支部総会の記念講演会に、当院から事務担当者3名が参加させて頂きました。電子カルテ化以降どんな点検が行われているのか、講師の南先生が実際の業務に沿ってお話し下さり、大変勉強になりました。

- 1、IT機能を駆使したチェックは査定点数の56.2%で、今後は70%を目指している。
- 2、電子カルテ化で点検は病名、医療、調剤レセプトが同時にチェックできるシステム、PCで行われている。
- 3、事例登録を入力し、査定のヒット数を向上させている(事例登録には全国共通告示、全件審査申合せ、医療機関ごと登録の3段階がある)。
- 4、縦覧点検で6カ月間が表示され、慢性疾患患者の3、4か月後受診時に初診をとっていないかどうかのチェックをしている。
- 5、電子化で時間ができた職員は医学的な書籍を購入し、学術学習会を開いて知識を高めている。その中の優秀な職員は入院の難解なレセプトを担当し全件チェックしている。等々、具体的なお話しに驚きました。

査定されやすい医療機関は、査定されても、減点しても、何も意見を言わない医療機関。「指摘に耳を貸さない」と思われ、さらにチェックされる事になる。もし、減点された内容に疑問点があれば、すぐに基金に電話して理由を聞いて欲しい。問合わせでにらまれることはない。職員は先生から直接電話がかかると緊張し、「この医療機関は油断できない」という意識を作る。

そして、納得のいかないものは再審査請求し、過剰と思われる事例には症状詳記をつけることが重要。審査で問題になれば、必ず症状詳記は見る。

「増減点連絡書及び再審査結果通知書」では、病名(もれ)の確認をする。病名を訂正しない限り出てくる。病名は漏れていると削られるが、病名の数多さはチェックされないの、出来るだけつけておく方がよい。病名は厚生労働省が定めた病名で入力する。ワープロ入力の病名は、内容に問題がなくても、機械で必ず引っかかることなどを教えて頂きました。帰り際には当院独自の質問でも、先生は気軽に答えて下さったので「参加して本当に良かった」と、三人で話しながら会場を後にしました。(野村医院 T・T)

2014年度活動方針

1. 経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
2. 地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
3. 在宅医療点数研究会や介護保険に関する研究会などを企画する。
4. 医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
5. 住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
6. 職員対象の保険請求事務講習会や接遇研修会、医療安全管理研修会などを企画する。
7. 医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に取り組む。
8. 「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に結集し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。特に、国・企業の責任を追及するためにアスベスト尼崎訴訟を支援する。
9. 「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(通称・県塚の会)」の活動に積極的に参加し、尼崎及び阪神地域の医療を守る運動を住民とともに展開していく。
10. 「あまがさき9条の会」をはじめ、市内の地域9条の会に協力し、平和憲法を守る活動に参加する。
11. 会員間の交流を深める文化行事を企画する。
12. 支部ニュースの毎月発行に努める。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員(敬称略・五十音順)13～14年度

- 【支部長】 八木 秀満
- 【副支部長】 綿谷 茂樹(筆頭) 大塚 誠治 大原 知樹
- 【支部幹事】 西原 弘道(主任) 朝田 真司 阿部 勝也 今北 正道
- 高 光重 合志 明彦 鈴木 克司 高田 正
- 立石 順 長谷川吉昭 畠中 正昭 藤岡 一郎
- 細見 基信 堀尾 俊治 前田 重人 増田 勉
- 町塚 博文 松田 哲一 両角 隆一
- 山内 道士 山下 秀明 行松 信孝
- 【参 与】 合志 至誠 森本 和夫 横田 友二

兵庫県保険医協会役員(敬称略・五十音順)13～14年度

- 【理 事】 西原 弘道 八木 秀満 綿谷 茂樹
- 【名誉理事長】 合志 至誠
- 【評 議 員】 大原 知樹 高田 正 谷川 博信 長谷川吉昭
- 前田 重人 町塚 博文 両角 隆一 山下 秀明
- (予 備) 大塚 誠治 高 光重 鈴木 克司 堀尾 俊治
- (歯 科) 阿部 勝也 富澤 洪基

尼崎社保協学習会

「医療・介護総合法」学習会



講演に聞き入る参加者

尼崎社保協では、6月28日に尼崎市立女性センタートレビエで、協会副理事長の川西敏雄先生を講師に「私たちの医療はどうなる!?医療・介護総合法のねらいとは」と題した市民学習会を開催し、57人が参加した。

川西先生は、「医療・介護総合法」が「社会保障・税の一体改革」の医療改革の流れの中で、「社会保障改革プログラム法」を経て成立した経過について説明。一般病床の病床数削減、介護保険利用料の引き上げ、要支援者の保険外しなど、医療法・介護保険法の改悪も含めた19もの法改定を国民の実態を無視して推し進めるものであることを紹介した。

病床削減の具体化として、全国で36万床ある重傷患者の入院ベッド(急性期病床)数を2015年度末までに9万床削減して、在宅介護へシフトさせ医療費を抑制させると指摘し、「これをすすめる地域医療ビジョン策定は都道府県に丸投げだ。国はお金がないのではなく、お金を出す気がないだけだ」と強調した。

自身も障害を抱える参加者からは、「国は着々と医療福祉の削減をすすめ、私たちは生きていけなくなる。どうすればいいのか」との意見に、「日本国憲法では国民に「健康で文化的な最低限度の生活」生存権をうたい、国には社会保障推進を求めている。安倍政権のすすめる社会保障はまさしく憲法違反だ。私たちは署名の力で法案の白紙撤回を求めるとともに、投票行動で安倍政権を追い詰めよう」と呼びかけた。

尼崎社保協では、9月20日(土)の定期総会で、「医療・介護総合法」学習会の2回目として大阪社保協介護保険対策委員の日下部雅喜氏を迎え、介護保険を中心に記念講演会を行う予定。

医療安全管理・院内感染対策研修会

近畿中央病院の経験学ぶ



講師の上野一枝氏(左)と石川泰子氏(右)

尼崎支部は、6月27日に中小企業センターで医療安全管理研修会を開催し、会員や医療スタッフら38人が参加した。公立学校共済組合近畿中央病院医療安全管理室看護師長の石川泰子氏と同感染管理認定看護師の上野一枝氏を迎え、「外来での医療安全管理・院内感染対策の基本」について学習した。講演では両氏から、近畿中央病院における手指衛生などの標準予防策や感染経路別予防策、インシデント発生時の対応、研修やカンファレンスの実践状況等について紹介された。

参加者からは「研修内容を受けて実際に自院でも行動化していこうという気持ちになった(看護師)」「これを機会に感染対策やマニュアルなど見直していきたいと思った(歯科衛生士)」「吐物の処理方法などが勉強になった(看護師)」「近畿中央病院での細やかな取り組みが大変参考になった(看護師)」などの感想が寄せられた。